

平成28年度 日本史B 年間指導計画

単位数 4単位

学科・学年 普通科 2学年

- 学習目標
1. 日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。
 2. 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
 3. 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける

使用教科書 実教出版 高校日本史B

使用副読本 浜島書店 プロムナード日本史

授業担当者

検 印	校長	教頭

学期	月	章	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 月	第1章 文化と国家の形成	1. 日本の旧石器文化	<ul style="list-style-type: none"> ・人間がまだ文字を知らない時代の歴史は、地中に埋まっている遺跡から考古学の成果によってわかることを意味を考えさせる。 ・石器時代には、平等な社会だったが、農耕がはじまると貧富の差があらわれ、権力者が出現してくることを意味をとらえさせる。 ・畿内にある巨大な古墳がつくられた理由と、古墳が地方に広まっていったことについて、大和政権と関連付けて調べさせる。
			2. 縄文時代の社会と文化	
			3. 弥生時代の社会と文化	
			4. 小国の分立から倭国の形成へ	
			5. 大和政権の形成	
			6. 倭の五王と大和政権の勢力伸長	
			7. 氏姓制度と群集墳の出現	
	5 月	第2章 古代国家の確立	1. 飛鳥時代の政治と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥・奈良に古代の都が成立した意味を考えさせる。 ・古代国家が中国など東アジア地域との関係のなかで成立したことをとらえさせる。 ・古代国家の政治・経済・文化の特徴をとらえさせる。 ・古代の都と地方の関係を調べさせる。 ・古代国家の税制の特徴をとらえさせる。 ・鎮守国家仏教の特徴をとらえさせる。 ・律令社会の変質過程をとらえさせる。 ・藤原氏が摂政関白として権力をもつようになる過程を理解させる。
			2. 古代国家の形成	
			3. 律令の成立と白鳳文化	
			4. 平城京と律令政治	
			5. 奈良時代の社会と政治	
			6. 国家仏教と天平文化	
			7. 平安初期の政治と文化	
			8. 摂関政治の確立	
			9. 国風文化の成立	
	6 月	第3章 中世社会の成立	1. 中世社会の土地制度	<ul style="list-style-type: none"> ・荘園公領制が成立していく過程を理解させる。 ・武士がしだいに権力を獲得していく過程を理解させる。 ・御家人制度を基盤とする鎌倉政権の意義をとらえさせる。 ・農工業の発達と流通の発展の関係を調べさせる。 ・蒙古襲来が鎌倉幕府に与えた影響について考えさせる。 ・鎌倉時代の文化と仏教の特徴をとらえさせる。 ・執権政治と悪党の出現の意味を考えさせる。
			2. 武士団の成立	
			3. 院政と保元・平治の乱	
			4. 平氏の繁栄と治承・寿永の乱	
			5. 鎌倉幕府の成立過程	
			6. 承久の乱と執権政治	
			7. 地頭の荘園支配	
			8. 農工業の発達と流通	
			9. 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退	
			10. 鎌倉時代の仏教と文化	
			11. 北条氏の専制と悪党	

学期	月	章	学習内容	学習のねらい
1 学期	7 月	第 4 章 中 世 社 会 の 展 開	1. 建武の新政と南北朝の内乱	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府滅亡後、南北朝の内乱が長い間続くのはなぜか考えさせる。 ・室町幕府の性格と対外関係の特徴を理解させる。 ・南北朝時代の文化と北山文化の特徴を理解させる。 ・室町時代の流通経済の発達過程を理解させる。 ・惣村が形成されていく意義と特徴をとらえさせる。 ・惣村を基盤とする一揆がなぜおこってきたのかを考えさせる。 ・室町幕府の衰退から戦国時代の始まりまでの過程を考えさせる。 ・東山文化と地域文化の発展についてその特徴を理解させる。
			2. 室町幕府の確立	
			3. 室町幕府の東アジアと日本	
			4. 南北朝時代の文化と北山文化	
			5. 室町時代の流通経済の発達	
			6. 惣村と一揆	
			7. 室町時代の衰退と戦国動乱	
			8. 戦国時代の政治と社会	
			9. 東山文化と地方への波及	
2 学期	9 月	第 5 章 統 一 政 権 の 成 立	1. 大航海時代と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代とはどのような時代か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。 ・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。 ・江戸時代初期の対外政策について考えさせる。 ・武士と百姓の関係を考えさせる。
			2. 織田信長の天下布武	
			3. 豊臣秀吉の全国統一	
			4. 豊臣政権の対外政策	
			5. 桃山文化	
			6. 江戸幕府の成立	
			7. 幕府と藩の支配体制	
			8. 鎖国と四つの口	
			9. 身分制と村・町の支配	
	1 0 月	第 6 章 幕 藩 体 制 の 展 開	1. 幕府政治の転換	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府はなぜ文治政治に転換したのか考えさせる。 ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる。 ・徳川吉宗と田沼意次の政策の特徴を理解させる。 ・百姓一揆や打ちこわしの背景を理解させる。 ・国学や蘭学が誕生した背景と特徴を考えさせる。 ・外国船が日本に何を求めてきたか考えさせる。 ・天保の改革はなぜ失敗したのか考えさせる。 ・文化・文政時代の文化の特徴を理解させる
			2. 産業の発達	
			3. 交通と都市の発達	
			4. 町人文化と学問の発達	
			5. 享保の改革と田沼の政治	
			6. 商品経済の発達と社会の変化	
			7. 蘭学と国学の普及	
			8. 寛政の改革と異国船の接近	
			9. 大塩の乱と天保の改革	
10. 民衆文化の発展				
1 1 月	第 7 章 大 日 本 帝 国 の 形 成	1. 開国と社会の変動	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航がもたらした日本社会への影響を考えさせる。 ・開国がもたらした日本社会の変化を理解させる。 ・倒幕運動の展開過程を理解させる。 ・新政府の基本政策の特徴を考えさせる。 ・文明開化は暮らしをどう変えたか考えさせる。 ・新政府は民衆の支持を受けたのか考えさせる。 ・新政府の対外政策の特徴を理解させる。 ・自由民権運動はどうひろまったのか考えさせる。 ・国民が求めた憲法とは何か考えさせる。 ・松方デフレ政策がもたらしたものを考えさせる。 ・大日本帝国憲法の制定過程と内容の特徴をとらえさせる。 	
		2. 尊王攘夷から倒幕へ		
		3. 明治維新と新政府の成立		
		4. 文明開化と復古		
		5. 地租改正と富国強兵		
		6. アジア外交と国境問題		
		7. 民権思想と国会開設運動		
		8. 私擬憲法と政党の結成		
		9. 松方財政と民権運動の激化		
		10. 大日本帝国憲法の制定		

学期	月	章	学習内容	学習のねらい
2 学期	1 2 月	第 8 章 大 日 本 帝 国 の 展 開	1. 条約改正と立憲政友会の結成	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が欧米列強のような植民地主義をとっていく過程を考えさせる。 ・日露戦争の性格と特徴を考えさせる。 ・朝鮮の植民地化の過程と意味を考えさせる。 ・産業革命は何をもたらしたのか考えさせる。 ・近代文化の特徴を理解させる。 ・大正デモクラシーの特徴を理解させる。 ・第1次世界大戦に日本がなぜ参戦したのか考えさせる。 ・朝鮮や中国から日本への批判が強められたのはなぜか考えさせる。 ・財閥が生まれた背景をとらえさせる。 ・社会運動の高揚の意味を考えさせる。 ・民衆文化が発展したことを理解させる。
			2. 朝鮮政策と日清戦争	
			3. 日清戦争後の東アジア	
			4. 日露戦争と朝鮮	
			5. 朝鮮の植民地化	
			6. 産業革命と社会問題	
			7. 欧米文化と伝統文化の交錯	
			8. 大正デモクラシー	
			10. 第1次世界大戦後の世界	
			11. 日本資本主義の成長	
			12. 米騒動と社会運動	
			13. 普通選挙法と治安維持法	
			14. 大正デモクラシーと文化	
			3 学期	
2. 満州事変と「満州国」				
3. 日中戦争				
4. 第2次世界大戦と日本				
5. アジア太平洋戦争				
6. 戦時下の文化と国民生活				
7. 日本の敗戦				
2 月	戦 後 改 革 と 高 度 経 済 成 長 第 1 0 章	1. 戦後世界と日本		<ul style="list-style-type: none"> ・占領政治の特徴を理解させる。 ・新憲法を生みだした力は何か考えさせる。 ・民主化政策の転換の背景を考えさせる。 ・朝鮮戦争で日本はどう変わったのか理解させる。 ・日本の「独立」過程の特徴を考えさせる。 ・新安保反対運動はなぜ起こったのか考えさせる。 ・高度経済成長の光と影を理解させる。 ・沖縄から戦後を考えてみる。 ・戦後どのような文化が生まれたか考えさせる。
		2. 日本国憲法と民主主義体制		
		3. 戦後改革の転換		
		4. 経済復興と再軍備		
		5. サンフランシスコ平和条約		
		6. 新日米安全保障条約		
3 月	現 代 の 世 界 と 日 本 第 1 1 章	1. 低成長への転換から経済大国へ		<ul style="list-style-type: none"> ・高度成長がなぜ終わり、その後どうなったのか考えさせる。 ・経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。 ・湾岸戦争がもたらした変化を考えさせる。 ・バブル経済の特徴を考えさせる。 ・21世紀の日本社会の特徴と課題を考えさせる。 ・21世紀のアジアと日本の関係について考えさせる。
		2. 経済大国日本と国際経済		
		3. 湾岸戦争後の世界と日本		
		4. バブル崩壊と政界再編		
		5. 21世紀の日本社会		
		6. 21世紀の世界と日本		

評価の観点

章	評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
文化と国家の形成 第1章	日本の原始社会に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	地域に残る遺跡から原始社会について考察するとともに、その成立過程や特徴を適切に表現している。	地域に残る遺跡や博物館などを訪ねるなどして原始社会の文化の特色に関する諸資料を収集し、原始社会の様子を調べるための情報を適切に選択している。	原始社会がまだ貧しいがゆえに平等な社会構造であったことを理解し、その知識を身に付けている。農耕の開始によって権力者があられ、クニができあがってくることを理解し、その知識を身に付けている。
古代国家の確立 第2章	古代国家としての奈良や京都、奈良時代や平安時代の文化に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	古代国家が東アジアの動向と関連して成立したことを考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。	古代国家の確立に関する史料を読み、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代国家が天皇を中心に成り立っていることを理解し、その知識を身に付けている。古代国家と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。奈良時代は律令制の時代であったことを理解し、その知識を身に付けている。平安時代は律令制が変質し、荘園を中心とした社会になってきたことを理解し、その知識を身に付けている。
中世社会の成立 第3章	武士の出現や武士の生活や鎌倉時代の出来事に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	武士の出現や武家政権の成立について、その文化や特色と関連付けながら考察し、適切に表現している。	中世社会の成立に関する諸資料を収集し、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。鎌倉時代の寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。	武士が土地の所領関係でむすびついていることを理解し、その知識を身に付けている。荘園などを武士が実力で奪いとり、力を獲得していく過程を理解し、その知識を身に付けている。東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりをもっていることを理解し、その知識を身に付けている。
中世社会の展開 第4章	中世社会が二つの勢力にわかれ争っていることや戦国大名の出現に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	南北朝の内乱、室町時代、戦国時代のそれぞれの時代について、出来事や文化に着目しながら考察し、適切に表現している。	室町時代の建築物や庭園から、その社会や文化の特徴を読み取ることができる。また全国各地の城跡から戦国時代の社会や文化の特徴に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	鎌倉幕府が滅亡したあと、全国の武士や悪党が二つにわかれて戦ったことを理解し、その知識を身に付けている。室町幕府と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。守護大名の時代から下克上を経て戦国大名が出現してくることを理解し、その知識を身に付けている。村の自治がしだいに成長してくることを理解し、その知識を身に付けている。
統一政権の成立 第5章	統一政権の成立にいたる過程、「鎖国」やキリスト教の日本への影響などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程や、徳川家康の築いた江戸幕府のシステムの特徴について考察し、適切に表現している。	織豊政権や徳川時代に関する史料や絵巻などの諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。五街道などを調べることにより、この時期に江戸と諸地域の関係がどう形成されていくかを読み取ったり図表などにまとめたりしている。	天下統一の過程が、ヨーロッパからの影響のもとでおこっていることを理解し、その知識を身に付けている。封建社会が百姓から年貢をとることによって成り立っていくことを理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の特徴を理解し、その知識を身に付けている。江戸幕府の貿易の特徴と禁教令の関係を理解し、その知識を身に付けている。
幕藩体制の展開 第6章	幕藩体制がしだいに動揺していく過程や蘭学・国学の普及、民衆文化の発展などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	幕府の改革についてそれぞれの特色をおさえつつ、幕藩体制の矛盾が表面化していく過程について考察し、適切に表現している。	地域に残るお墓、義民伝説や地域にあった寺子屋など江戸時代の民衆の生活に関する諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	幕藩制度が安定するときの特徴を理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の矛盾の出現の理由を理解し、その知識を身に付けている。百姓一揆・打ちこわしの背景を理解し、その知識を身に付けている。幕府の改革の失敗の理由を理解し、その知識を身に付けている。異国船の接近が幕府にもたらした影響を理解し、その知識を身に付けている。
大日本帝国の形成 第7章	開国から幕府の滅亡にいたる過程、新政府の政策に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。欧米の文化・思想が日本の文化に与えた影響、日本を取り巻く国際環境の変化などに関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	江戸幕府が倒れていく過程や新政府がとった政策とその結果について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	浮世絵や風刺漫画などから明治維新、文明開化、自由民権運動などの様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	開国が与えた影響を理解し、その知識を身に付けている。討幕運動の特徴を理解し、その知識を身に付けている。新政府の政策の特徴を理解し、その知識を身に付けている。自由民権運動の内容を理解し、その知識を身に付けている。

章	評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
大日本帝国の展開 第8章	日清、日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移、大正デモクラシーや民衆の台頭、第1次世界大戦とその影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露戦争と第1次世界大戦の経過やその結果について考察し、適切に表現している。	風刺漫画や雑誌・新聞などの諸資料を収集し、当時の民衆の姿を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日清・日露戦争のそれぞれの性格と特徴を理解し、その知識を身に付けている。植民地支配の特徴と植民地からの抵抗について理解し、その知識を身に付けている。大正デモクラシーの特徴を理解し、その知識を身に付けている。
第9章 日本・アジア戦争 15年戦争	第2次世界大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	日本国内の政治、経済の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のおこなった戦争の性格について考察し、適切に表現している。	地域に残る戦争遺跡を訪ねるなどして第2次世界大戦に関する諸資料を収集し、戦争の様子を調べるための情報を適切に選択している。	戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどのような性格であったかを理解し、その知識を身に付けている。戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身に付けている。
第10章 高度経済成長改革	戦前と異なり戦後は国民が主人公になった時代であることや、戦後の社会の変化の大きさに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的な違い、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことの問題点について考察し、適切に表現している。	新聞や雑誌・漫画から戦前と戦後の変化を読み取ることができる。様々な史料から戦後日本を世界史のなかに位置付けて考察し、その特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したことを理解し、その知識を身に付けている。戦後世界の動向と日本との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。
第11章 世界と日本 現代の	経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本のかかえる課題などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	現代日本のかかえる様々な課題について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	年表や新聞、雑誌を活用して現代の日本と世界の関係について調べるための情報を適切に選択している。	戦後の世界と日本の変化の過程を事実にもとづいて理解し、その知識を身に付けている。21世紀の展望をもつ。